
YUTAKA
2007年3月期
決算説明会
2007年5月9日
株式会社ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2007年3月期 決算概況

Ⅱ．2008年3月期 見通し

Ⅲ．その他 事業状況

YUTAKA

2007年3月期
決算概況

07年3月期決算概況 ＜連結＞

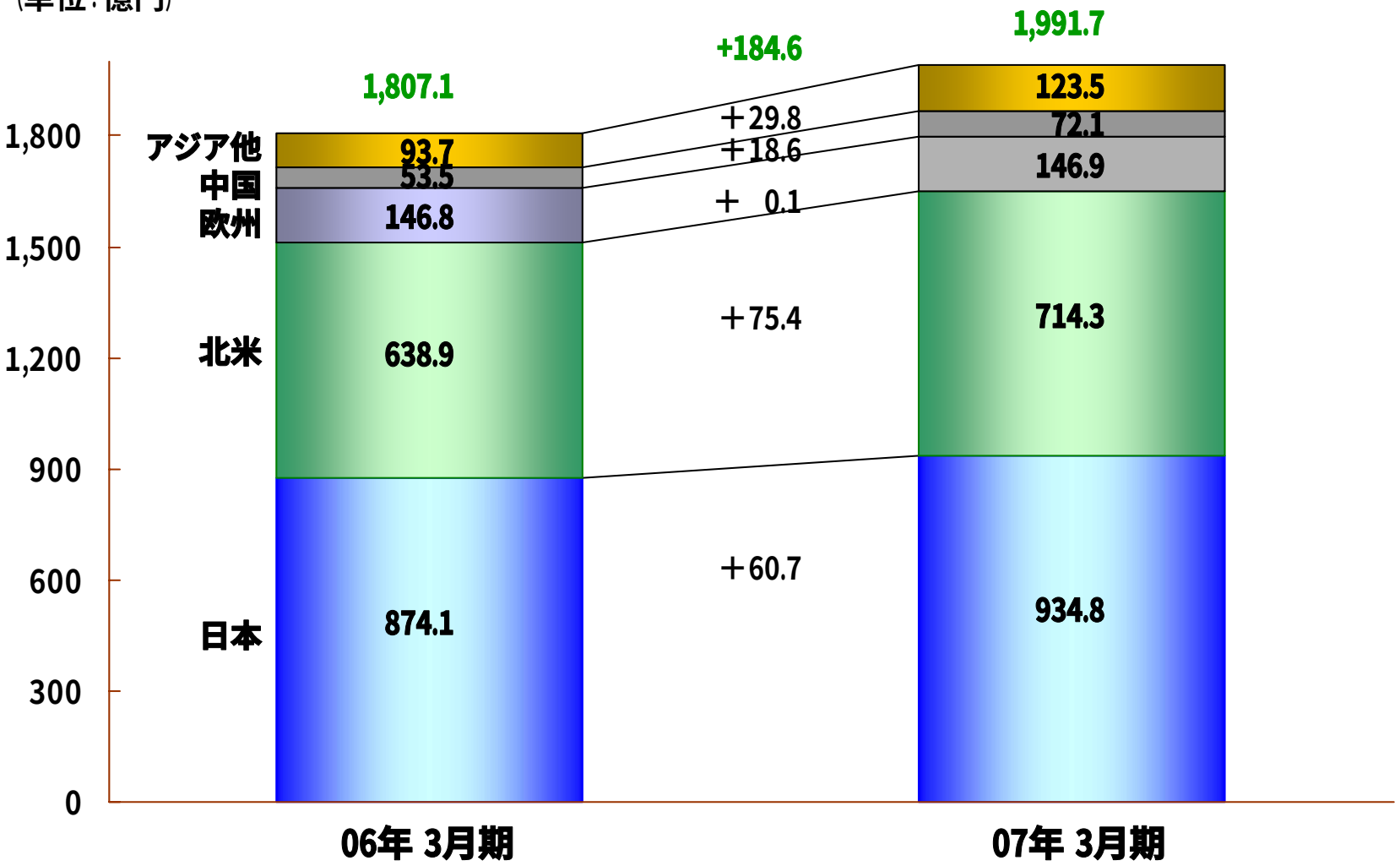
(単位：億円)

	06年 3月期	07年 3月期	前年同期比
売　　上　　高	1,807.1	1,991.7	10.2%
営　業　利　益	74.0	82.3	11.3%
経　常　利　益	81.1	91.1	12.2%
当　期　純　利　益	57.3 ＊年金代行返上益9.8 及び毛呂山の土地・ 建物減損 △2.9含む	55.0 ＊鈴鹿製作所の土地・ 建物減損△1.1含む	△4.0%
1株当り当期純利益	384.63円	371.97円	△3.3%
	($1=\113)	($1=\117)	

売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高

07年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別売上高

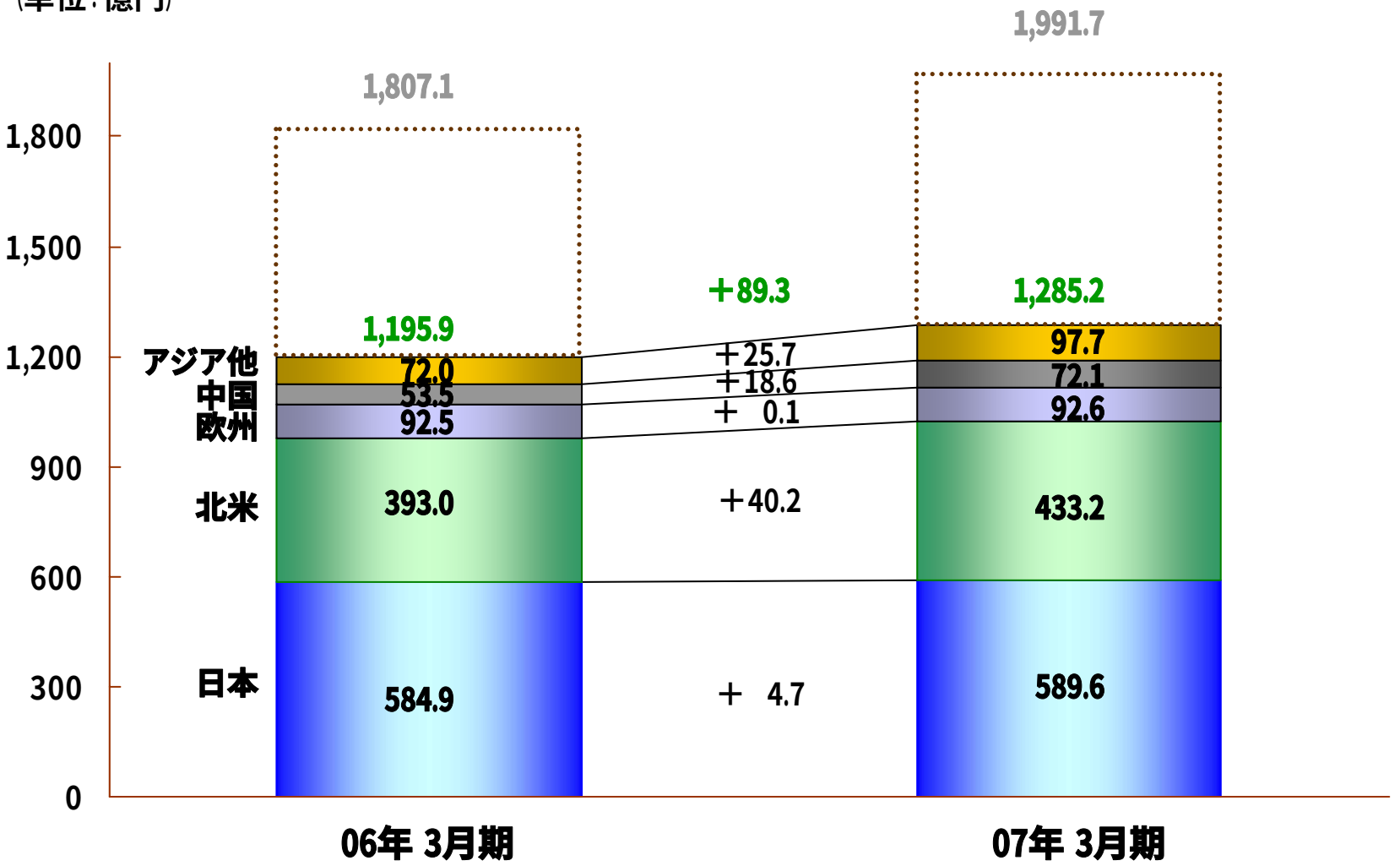
(単位：億円)



全地域で増収

07年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)

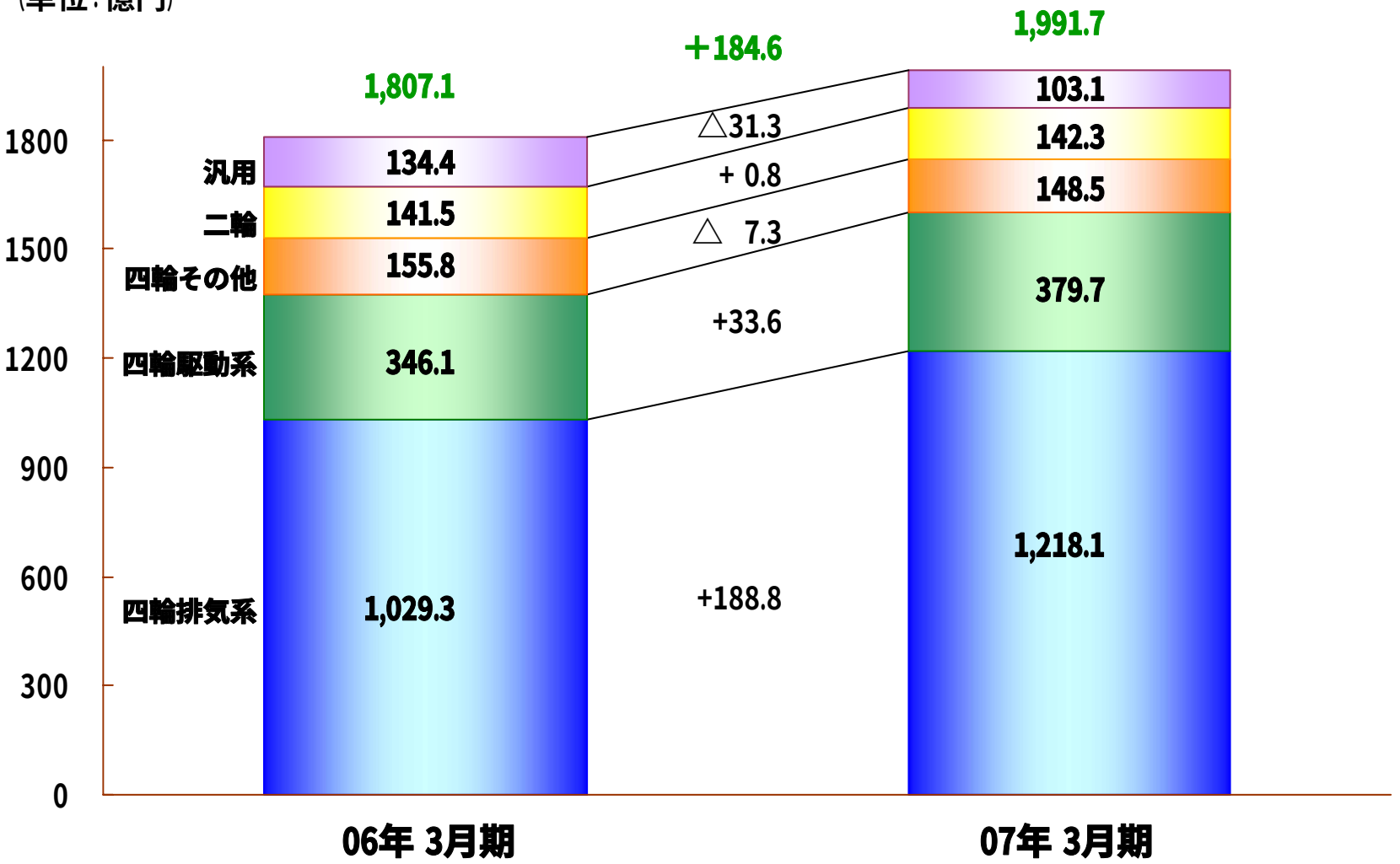
(単位：億円)



キャタリスト抜きでも、全地域で増収

07年3月期決算概況 ＜連結＞　製品別売上高

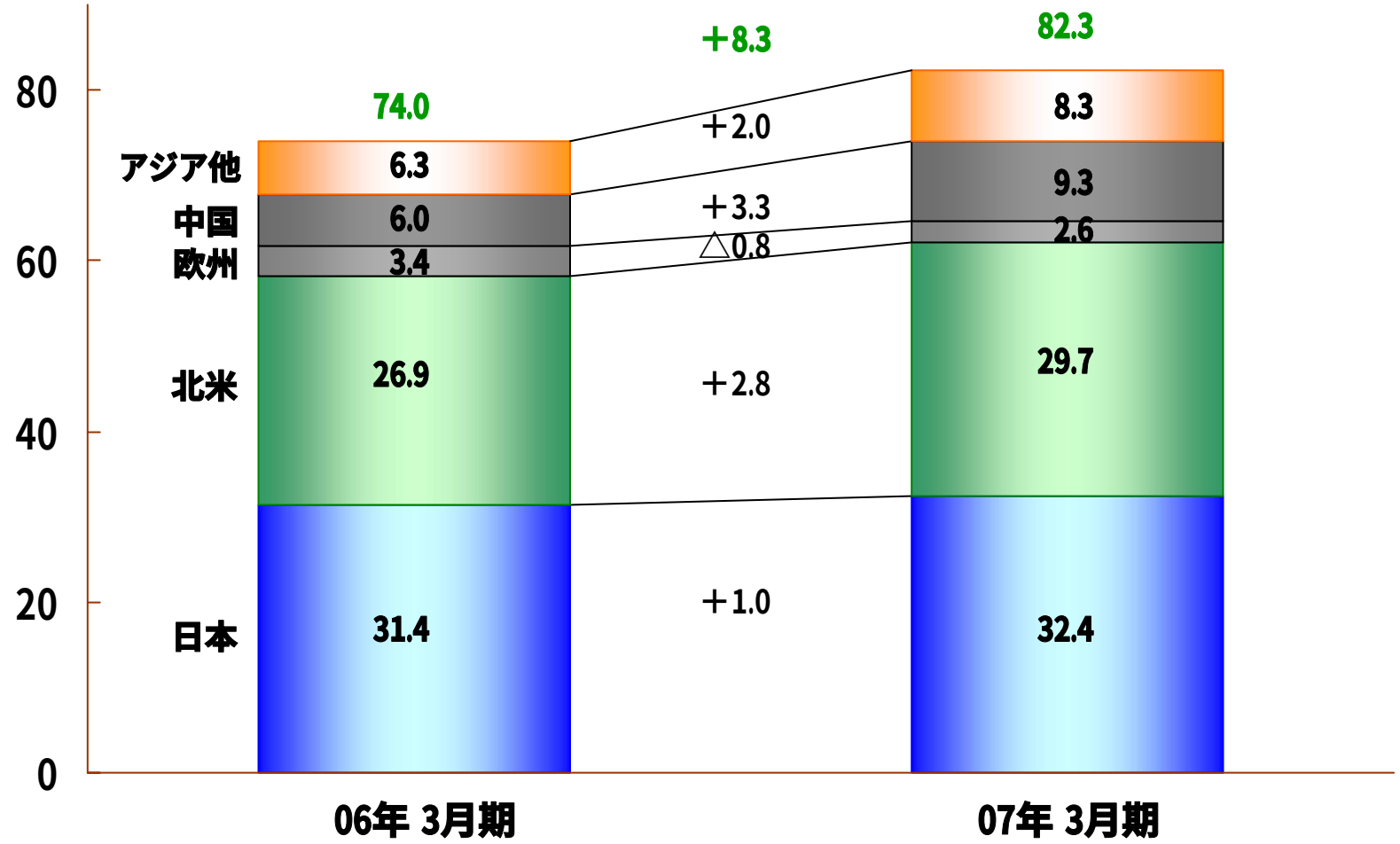
(単位：億円)



四輪排気系・駆動系の増収が大きく寄与

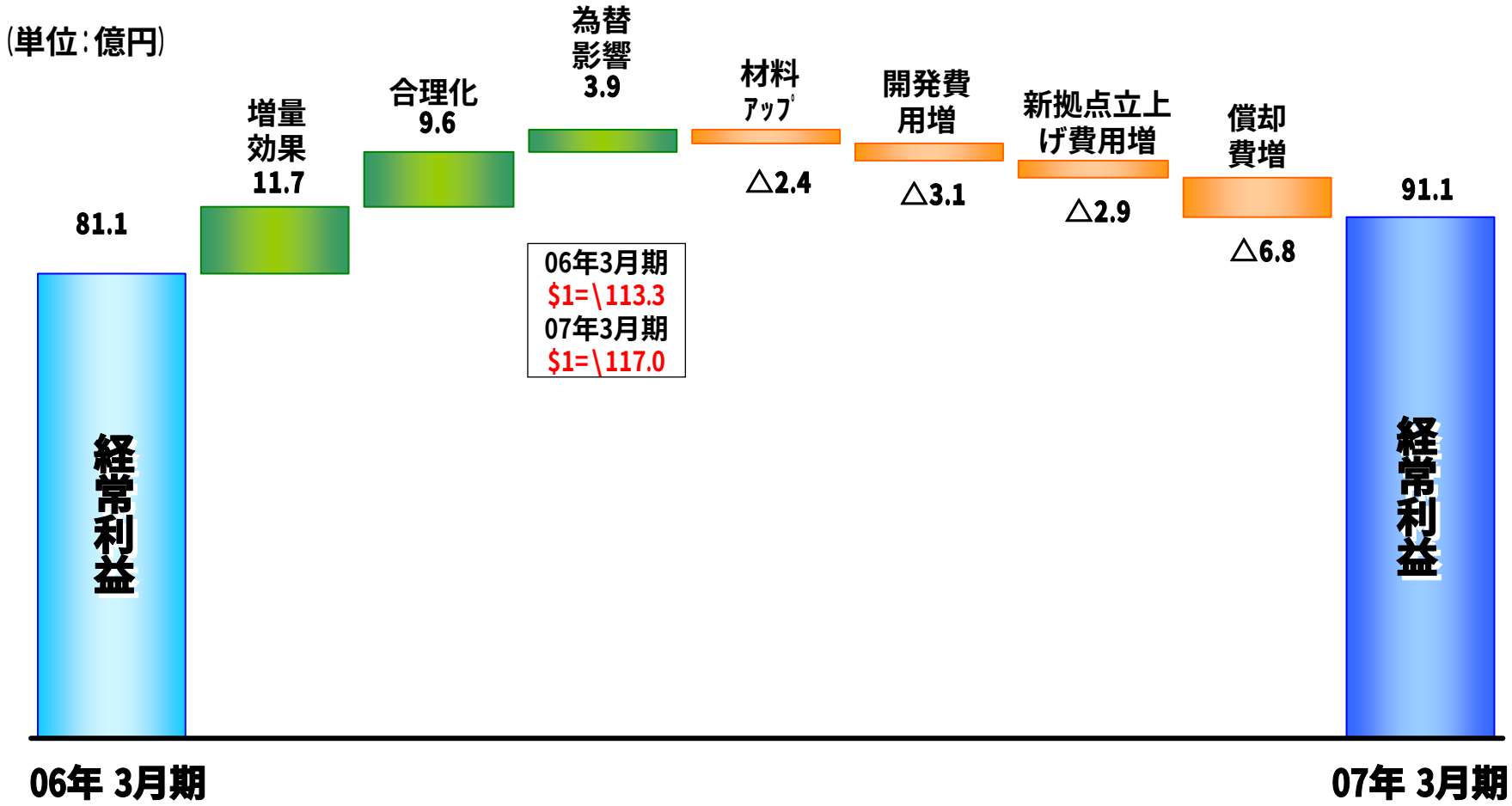
07年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別営業利益

(単位：億円)



北米・中国・アジアの増益により、全体も増益

07年3月期決算概況 ＜連結＞　経常利益 増減要因



材料費アップと開発費用負担増等の減益要因を吸収し増益

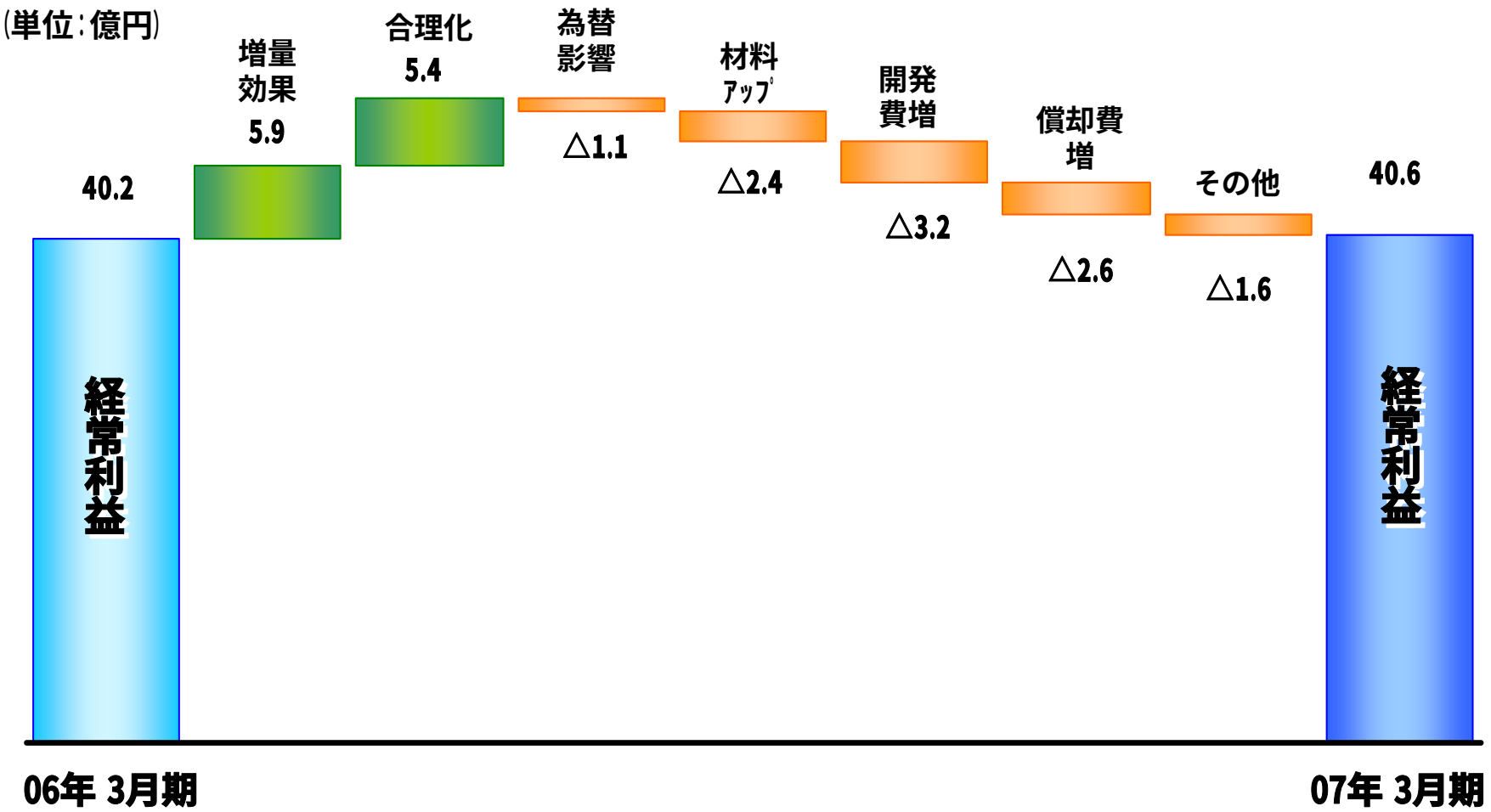
07年3月期決算概況 ＜単独＞

(単位：億円)

	06年 3月期	07年 3月期	前年同期比
売上高	1,007.0	1,117.8	11.0%
営業利益	29.5	30.4	3.1%
経常利益	40.2	40.6	1.1%
当期純利益	31.3 ＊年金代行返上益9.8 及び毛呂山の土地・ 建物減損 △2.9含む	25.7 ＊鈴鹿製作所の土地・ 建物減損△1.1含む	△17.8%
1株当り当期純利益	209.15円 ($1=\113)	173.60円 ($1=\117)	△17.0%

営業利益・経常利益ともに増益

07年3月期決算概況 ＜単独＞　経常利益 増減要因



材料アップと開発費用負担増等の減益要因を吸収し増益

YUTAKA

2008年3月期

見通し

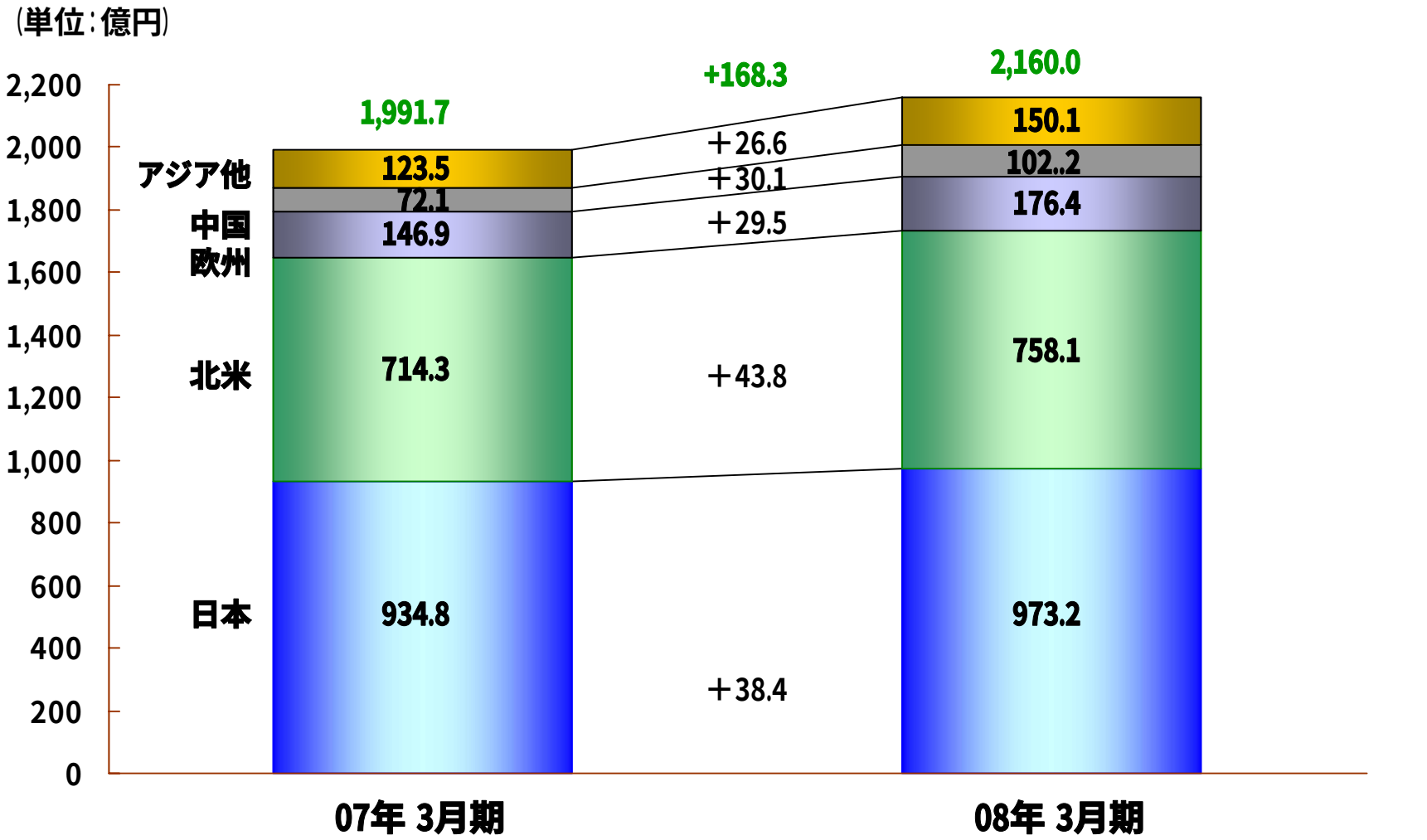
08年3月期見通し ＜連結＞

(単位：億円)

	07年 3月期	08年 3月期	前期比
売上高	1,991.7	2,160.0	8.4%
営業利益	82.3	88.0	6.8%
経常利益	91.1	92.0	1.0%
当期純利益	55.0 ＊鈴鹿製作所の土地・建物減損△1.1含む	56.0	1.7%
1株当り当期純利益	371.97円	378.41円	1.7%
1株当り配当金	30.0円	34.0円	+4円
	($1=\117)	($1=\115)	

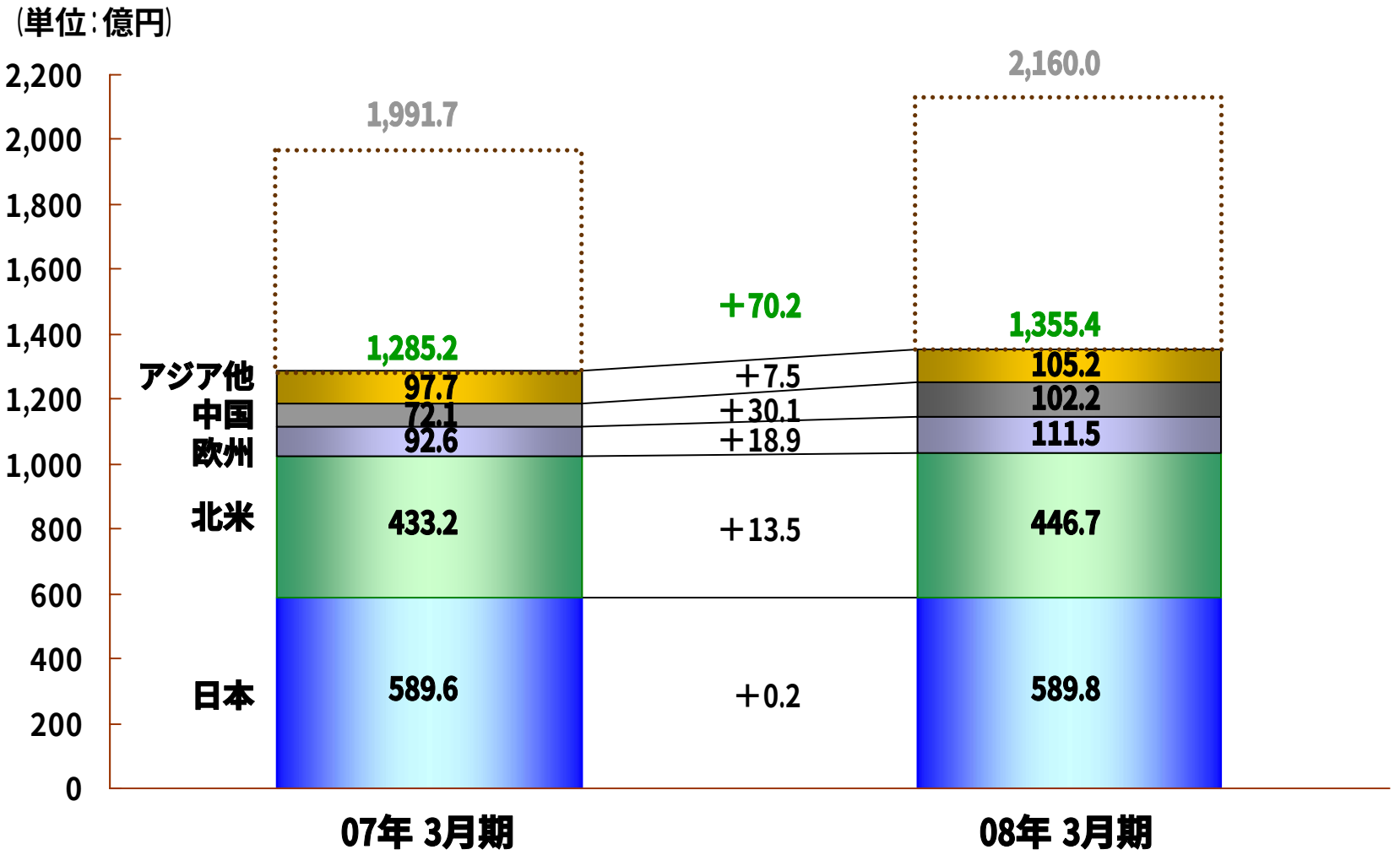
増収増益を継続の見通し

08年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高



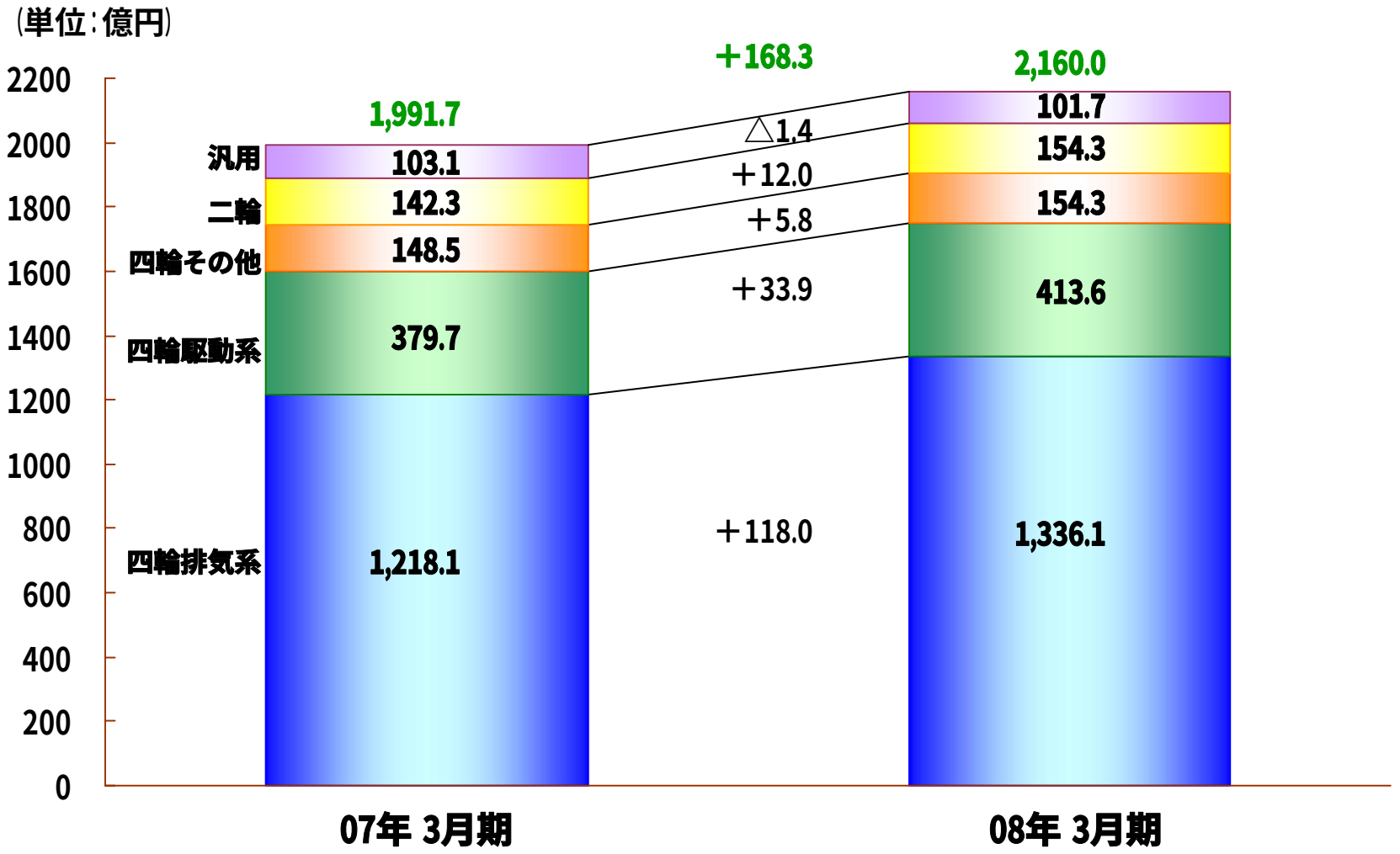
全地域で増収

08年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)



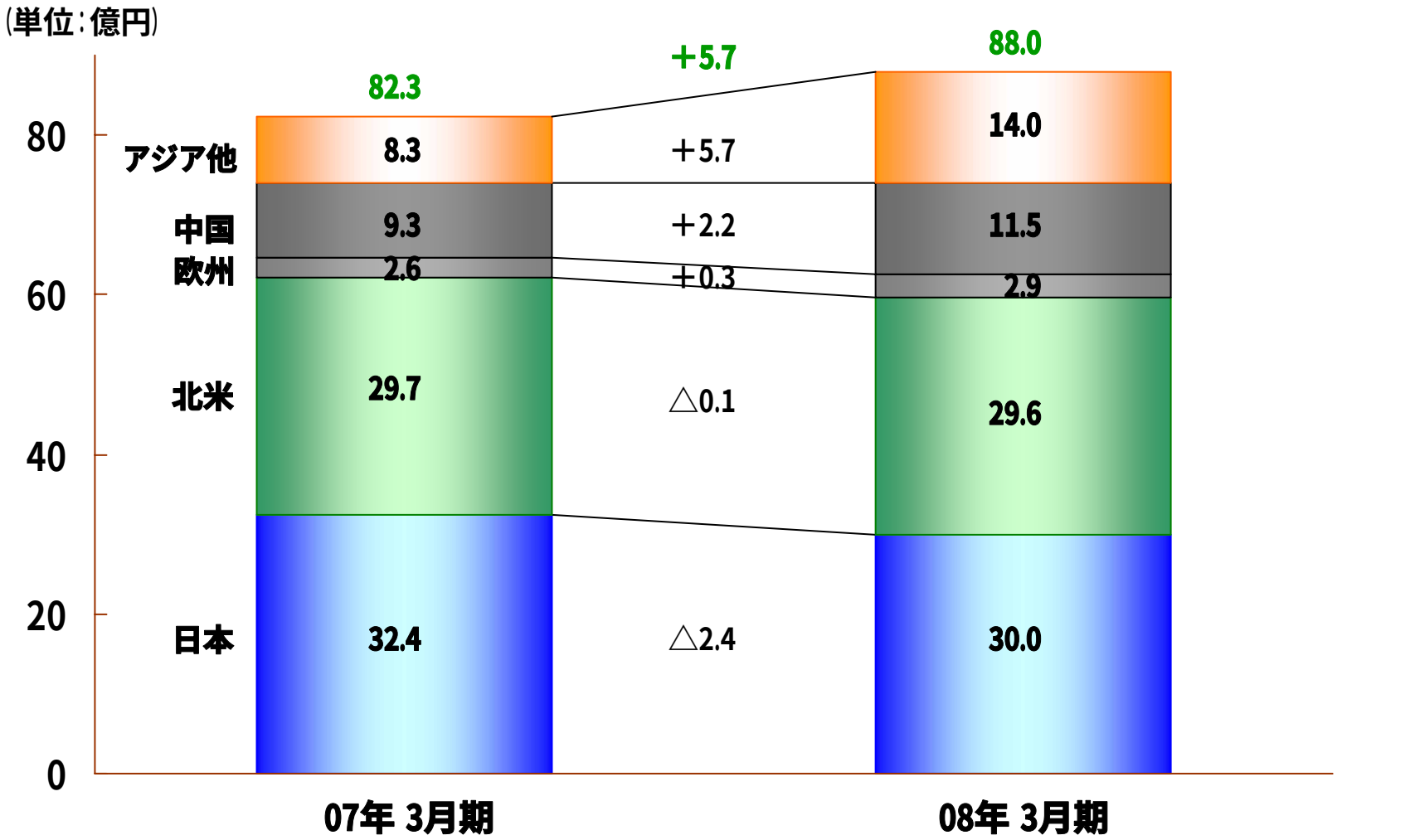
キャタリスト抜きでも全地域で増収

08年3月期見通し ＜連結＞ 製品別売上高



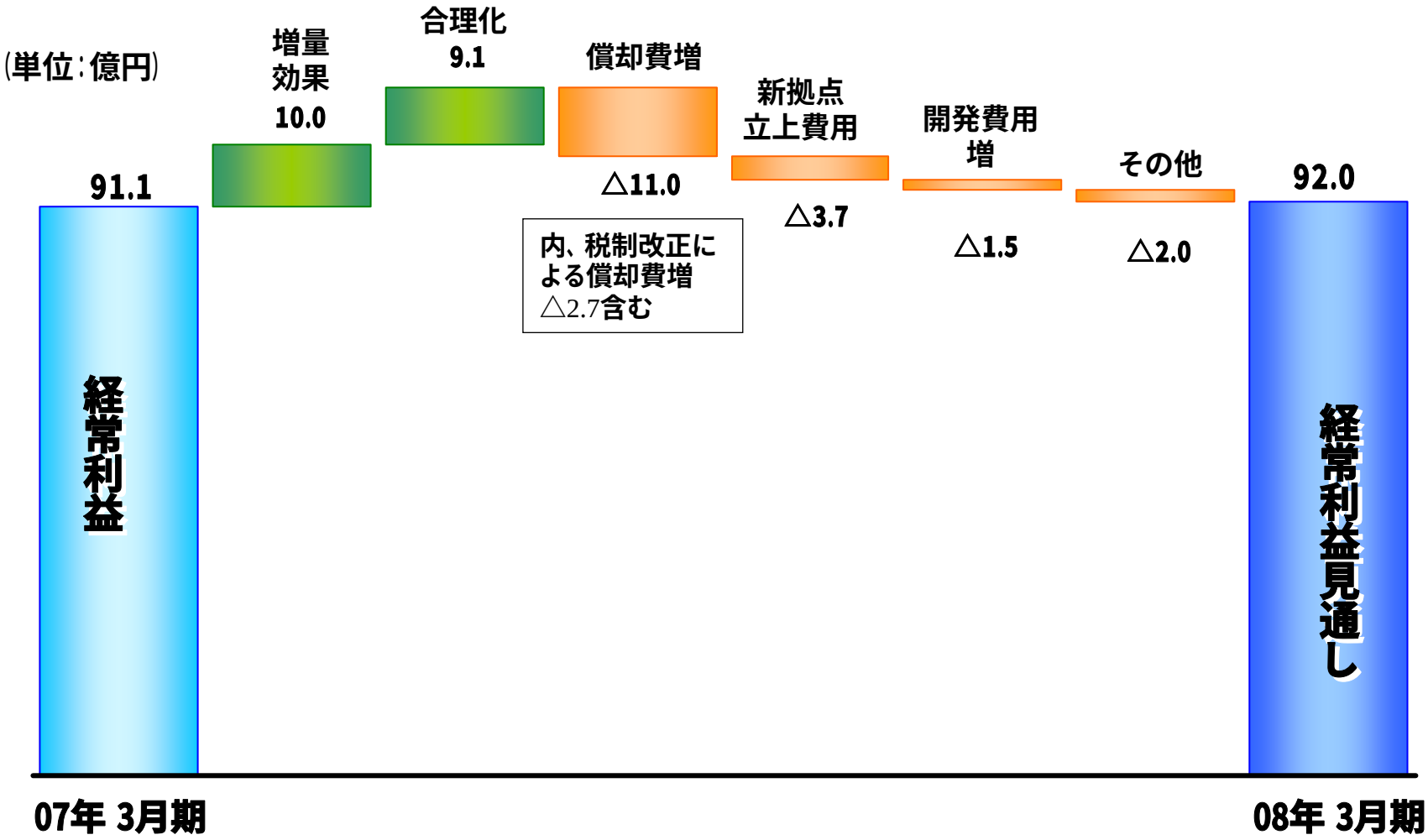
四輪排気系・駆動系及び二輪を中心に増収

08年3月期見通し ＜連結＞　地域別営業利益



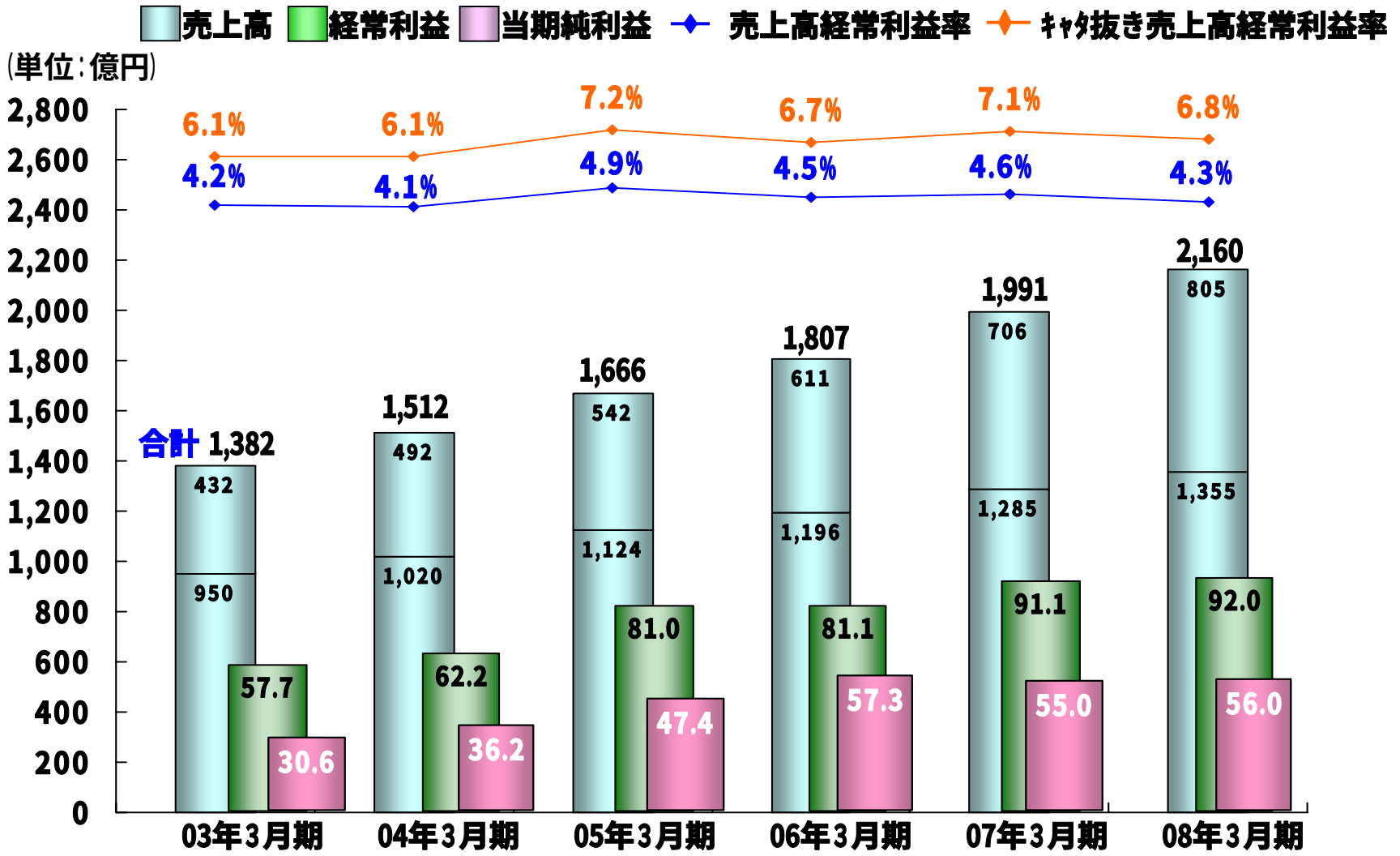
アジア・中国地域の増益により、全体でも増益

08年3月期見通し ＜連結＞　経常利益 増減要因



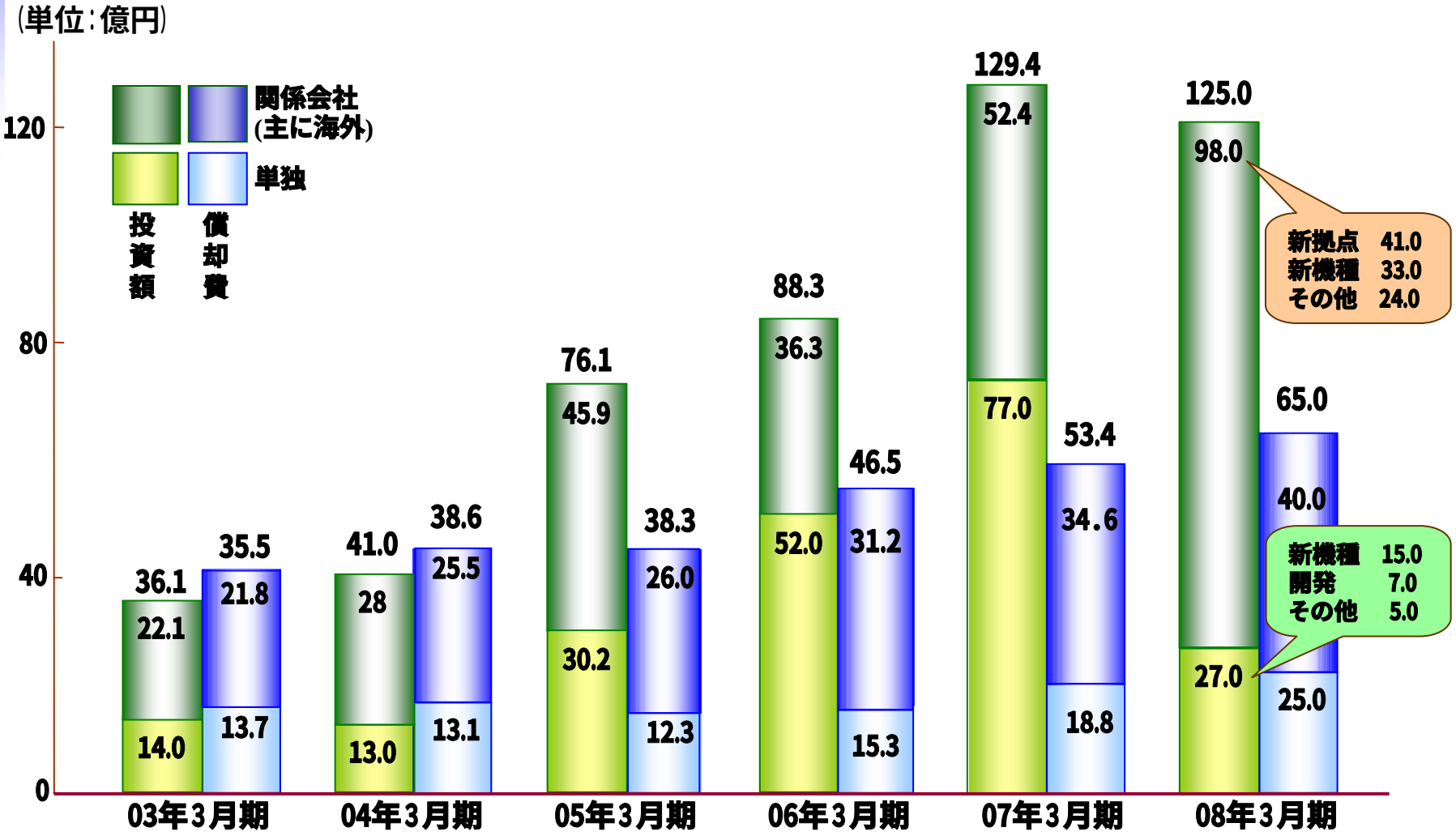
新拠点の立上がり費用を吸収し増益

08年3月期見通し ＜連結＞ 売上及び利益の推移



売上は5年連続、経常利益は１１年連続の増益

08年3月期見通し ＜連結＞ 設備投資額の推移



投資は前期より若干減少

その他 事業状況

1986年11月1日　ユタカ技研創立

プレス技研工業･高丘技研工業 合併








本田の子会社合併
新社名は「ユタカ技研」
1日に対等合併
ユタカ技研で再出発
1日に正式合併



3社の合併によるシナジー

プレス技研



精密ﾌﾟﾚｽ加工技術
溶接加工技術

経営資源・技術の相互補完

システムサプライヤーへの進化



組立技術
塗装技術

パイプ
加工技術

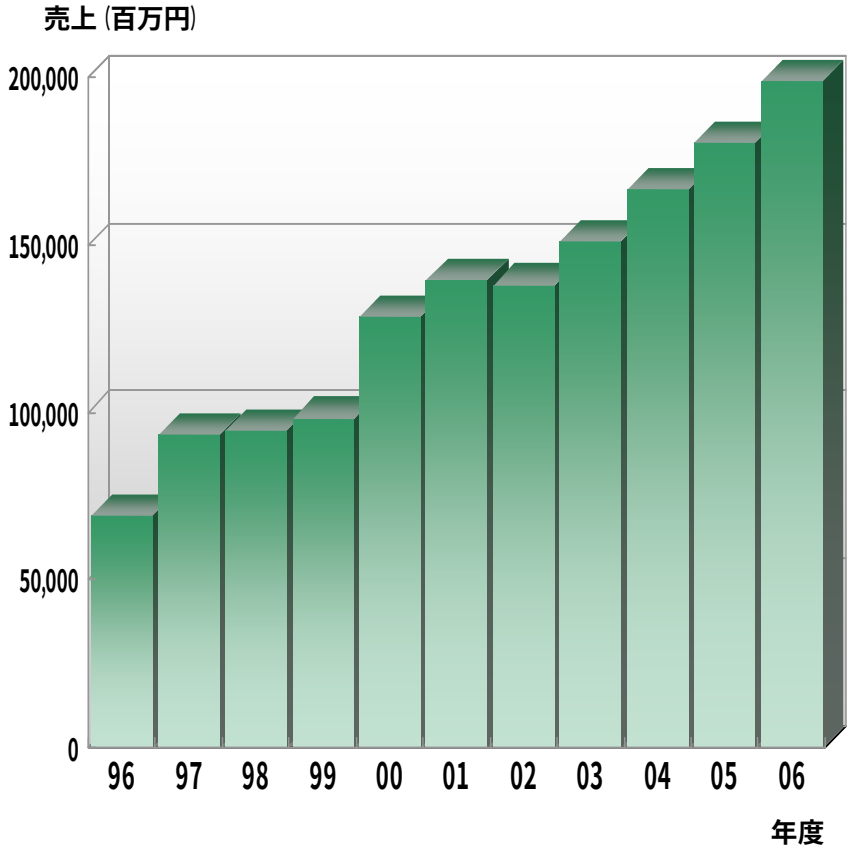
高丘技研

鋼管技研

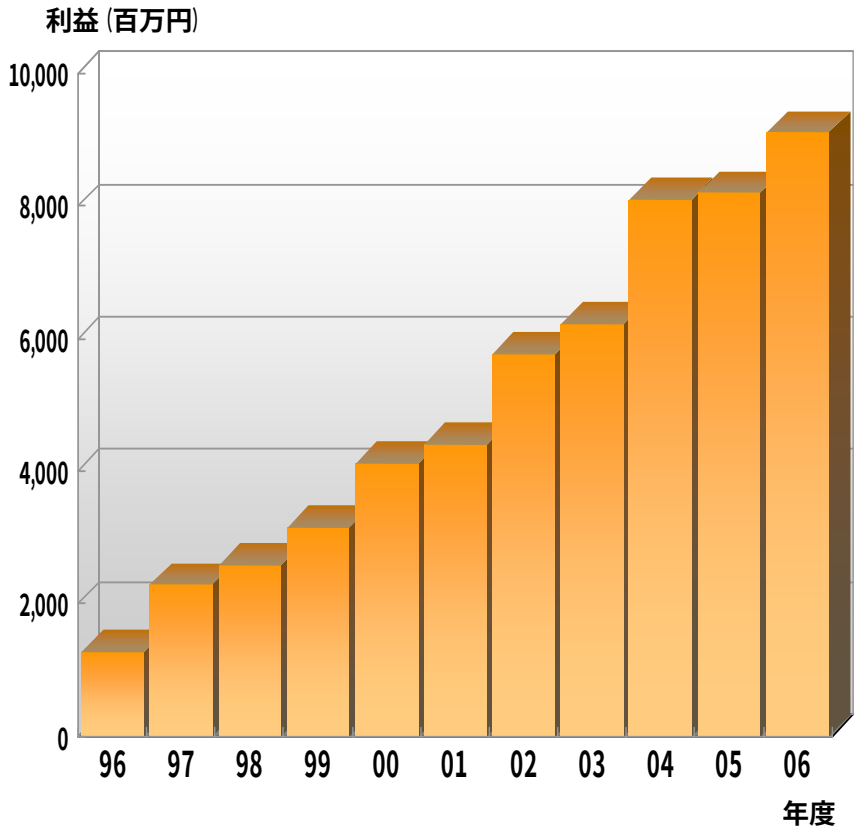
企業規模の推移

ユタカ連結事業規模推移

売上

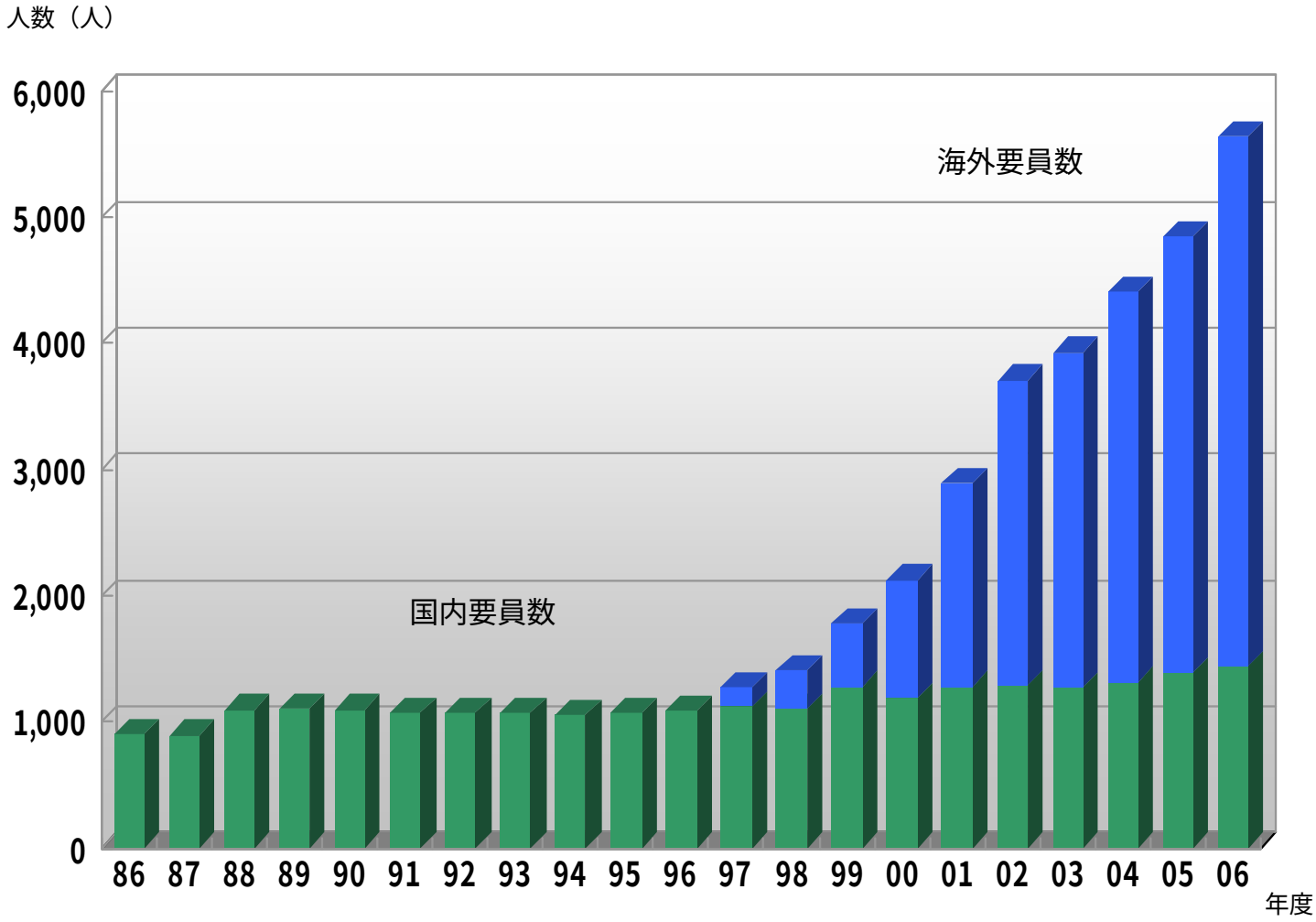


経常利益



企業規模の推移

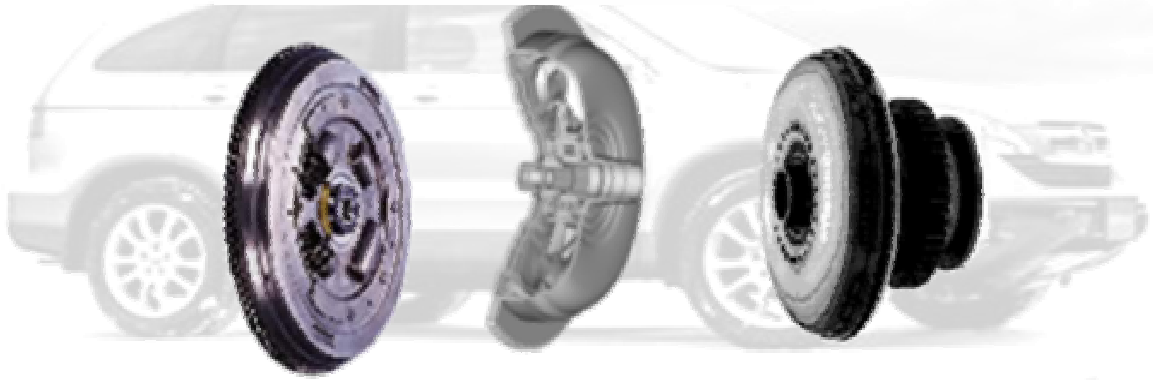
ユタカグループ要員推移



ユタカの主幹3本柱製品

駆動系製品

トルクコンバータ、ドライブプレート他



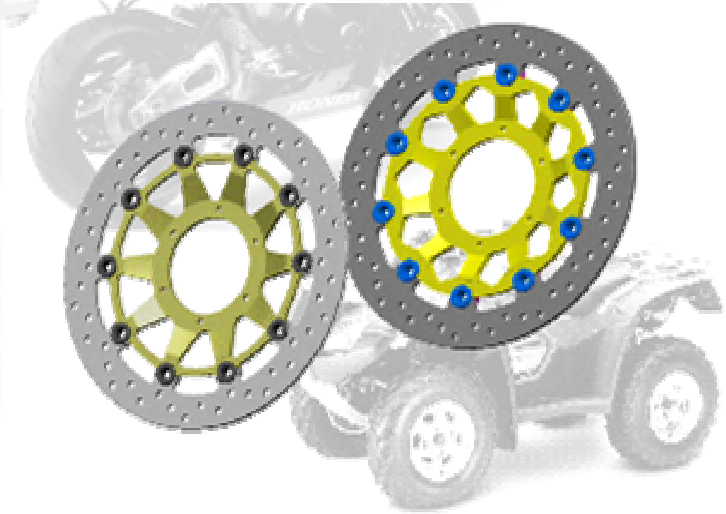
排気系製品

排気一貫システム他



制動系製品

ブレーキディスク他



ユタカのビジネス展開の考え方

基本ビジネス	基本方針	基本スタンス
●主幹3本柱	●需要のある所で生産	●一貫加工 ●相互補完/ﾘｽｸ分散
排気系製品 排気コンバータ 他	お客様近接地域で生産	(日本) ・製品別工場 ・マザー機能
駆動系製品 トルクコンバータ	お客様ミッション戦略に連動した極配置	
制動系製品 ブレーキディスク	ア大集中生産 日本はマザー機能確保	

国内拠点

4製作所、1開発センター、子会社･関連会社2社

栃木開発センター



嵐山製作所



2006年4月稼動

高丘製作所



株式会社スミレックス

本社･豊製作所



三重製作所



新日工業株式会社

国内拠点 ＜三重製作所＞

三重製作所の狙い

・本田技研鈴鹿製作所様向けの排気一貫システム製品の生産拠点

・物流の見直しと生産ラインの更なる高効率化により、体質を強化

・生産開始時期　2007年4月



三重製作所のロケーション





国内拠点 ＜豊製作所＞

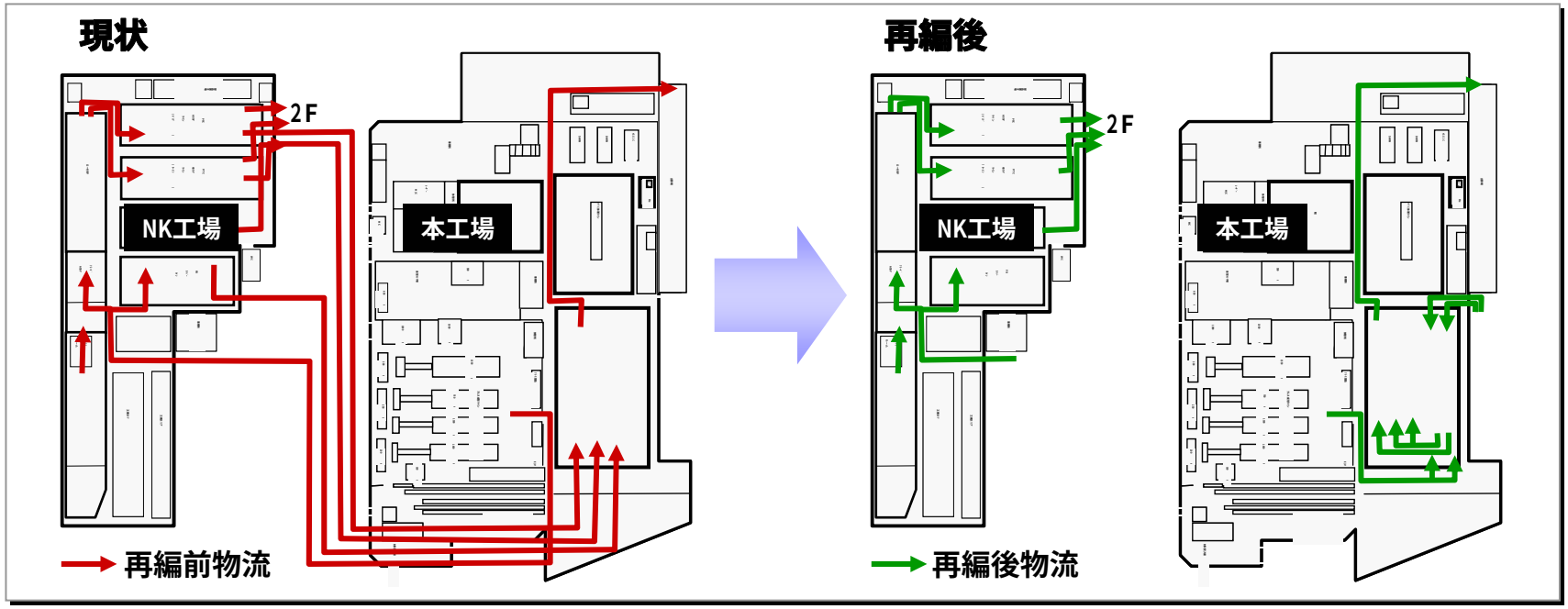
豊製作所レイアウト再編の狙い

・トルクコンバータのモデル工場として、
高効率なラインレイアウトへ再編

- 物流レイアウトの見直しで構内在庫を削減
- ライン稼働率の向上により全体効率を向上



レイアウト再編のイメージ



国内拠点　＜栃木開発センター＞

栃木開発センターの狙い

・お客様の近くに開発機能を集約し、開発連携の強化と効率を向上

・開発部門と生産技術部門をワンフロア化し、製品の早期熟成により効率を向上

・2006年10月稼動

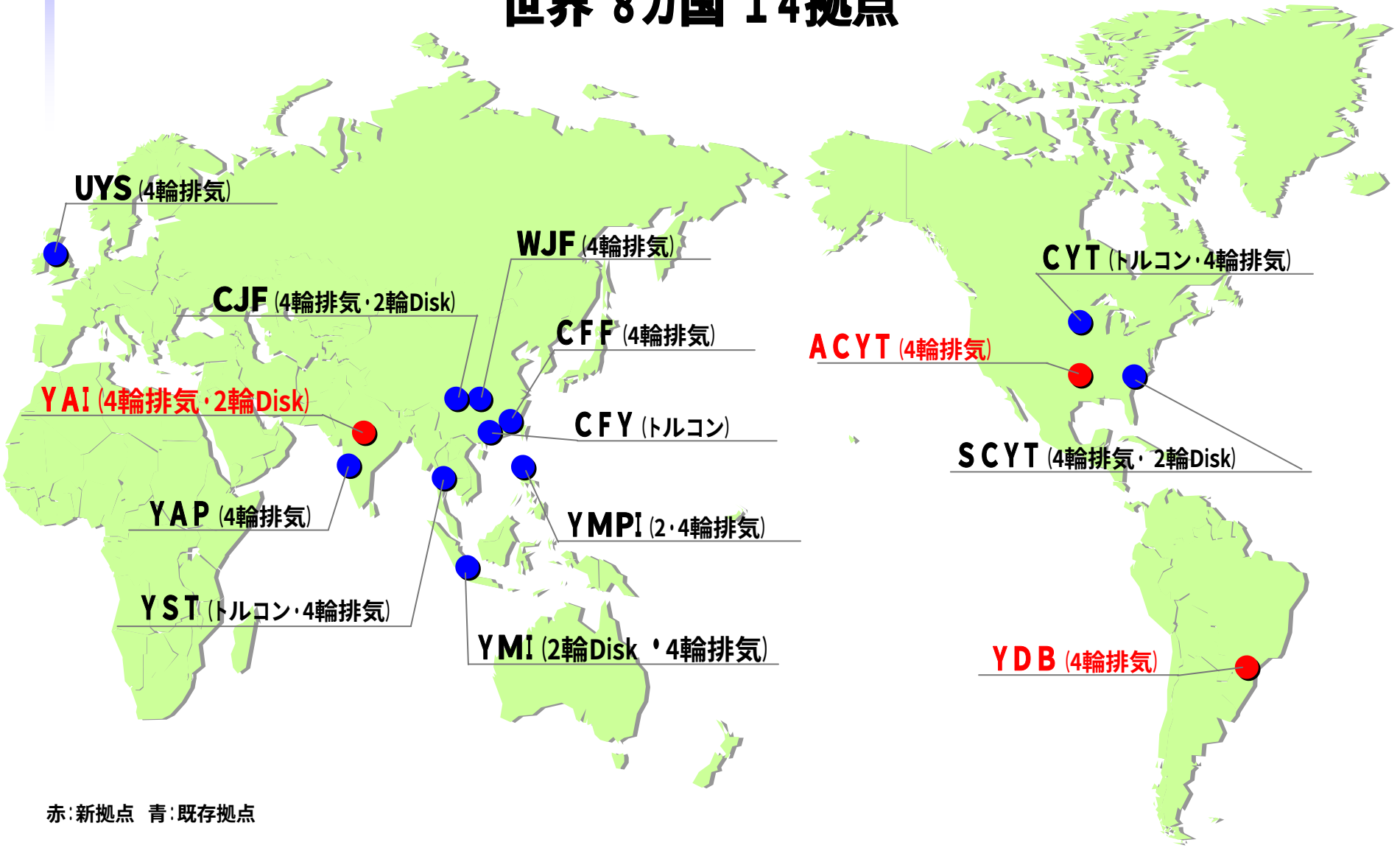






海外拠点

世界 8カ国 14拠点



赤：新拠点　青：既存拠点

海外拠点 ＜Yutaka do Brasil Ltda：ブラジル＞

ＹＤＢの狙い

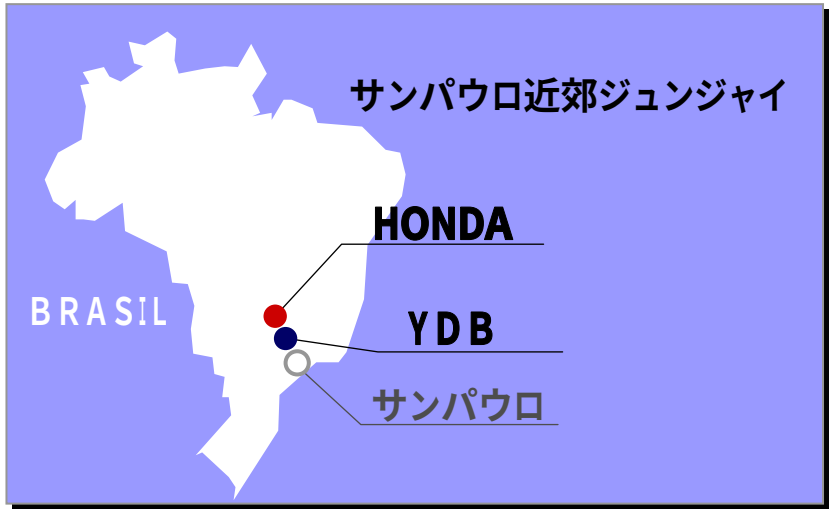
・Honda Automoveis do Brasil Ltda 様向け排気系製品の生産拠点

・急拡大を続けるブラジル市場に対応した生産能力拡大

・生産開始時期　2008年8月予定



ＹＤＢのロケーション



起工式を伝える地元新聞



海外拠点 ＜Alabama Cullman Yutaka Technologies LLC.：アラバマ＞

ＡＣＹＴの狙い

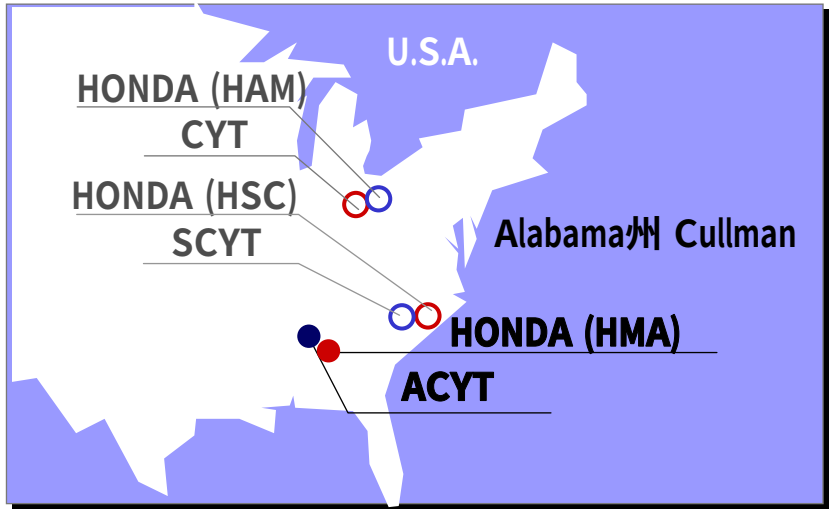
・北米地域における更なる競争力向上を図る為、より客先に近いところでの生産供給を実施

・Honda Manufacturing of Alabama LLC 様向け排気系、駆動系製品の生産拠点

・営業開始日　2008年4月予定



ＡＣＹＴのロケーション



起工式の様子



海外拠点 ＜Yutaka Autoparts India (Pvt) Ltd ：インド＞

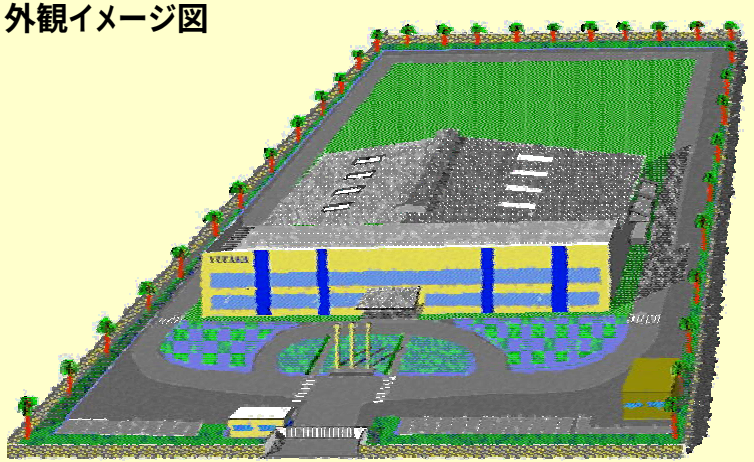
ＹＡＩの狙い

・インド地域における更なる競争力向上を図る為、より客先に近いところで生産供給を実施

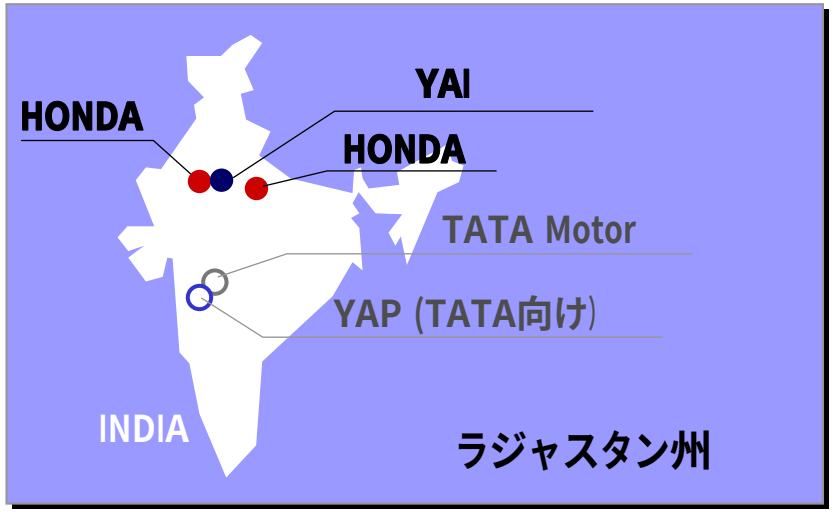
・Honda Siel Cars India Ltd.様向け排気系、制動系製品の生産拠点

・営業開始日　2008年4月予定

外観イメージ図



ＹＡＩのロケーション





海外拠点　＜YS Tech (Thailand) Co.,Ltd.：タイ＞

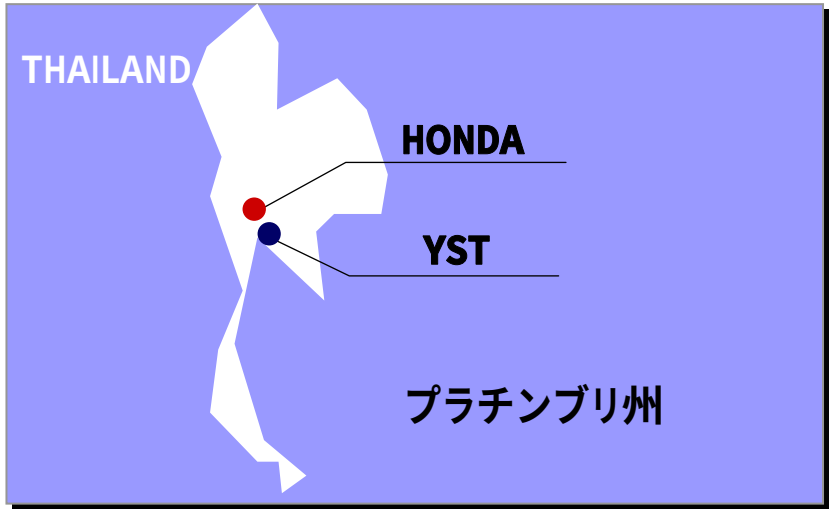
ＹＳＴの狙い

・ア大地域向けの駆動系製品とHonda Automobile (Thailand) Co., Ltd様向け排気系製品の生産拠点

・プレスから組立てまでの一貫加工、生産

・０６年度より排気系製品の生産を開始

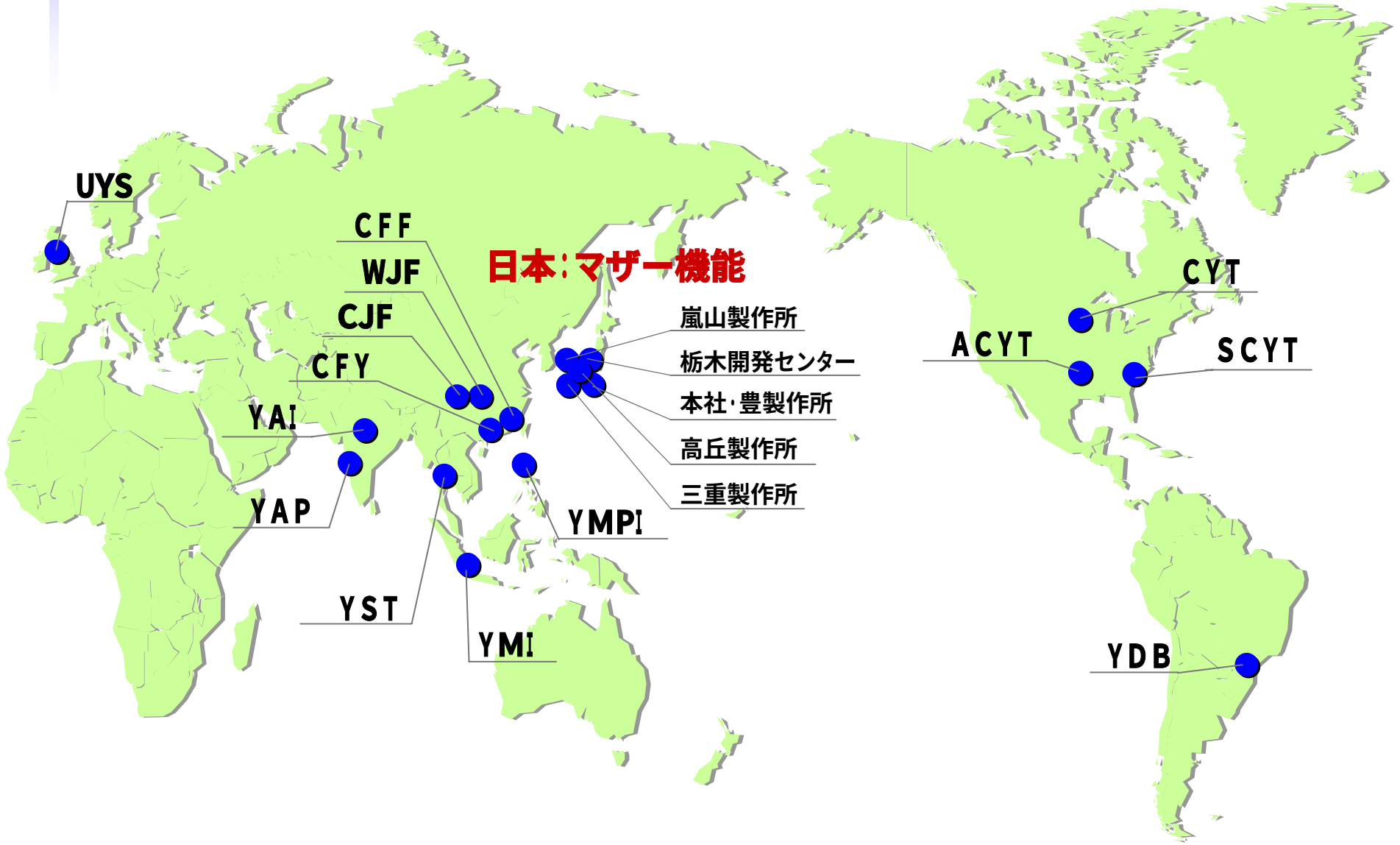






ユタカ拠点

国内4製作所+1開発センター、海外14拠点の拠点体制




YUTAKA
Clean for the Future